

経営協議会学外委員会からの主な意見等への対応状況＜平成 29 年度＞

経営協議会	学外委員からの主な意見等	対応状況
<p>第 99 回 (平成 29 年 10 月 24 日)</p>	<p>電気通信大学 (UEC) 基金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寄附を呼びかける際に、一般にも分かりやすいキャッチコピーや、貴学で新たに採択された事業等をアピールしてはどうか。</li> </ul>	<p>創立 100 周年を記念するキャッチコピー「ひらけ、INNOVATION!」(H29 年 11 月策定) を活用し、表面にキャッチコピーを、裏面に UEC 基金へのご支援とご協力を仰ぐ文言を配した ”小旗(卓上フラッグ)” を作成し(H30 年 3 月 : 450 個)、学内の研究室や事務室に配布し、各部屋に掲げて頂くことで、大学への来訪者どなたの目にも触れる環境作りを進めている。</p> <p>H29 年度新たに採択された J S T 「未来社会創造事業」については、1 月開催の学長トーク以後、大学の最近の活動報告の項に加え、D.C.&amp;I. 戦略 や 100 周年キャンパスの活動状況と共に、基金への寄附をお願いする前段の大学活動のアピールに活用している。</p>
<p>第 100 回 (平成 29 年 12 月 20 日)</p>	<p>共同利用・共同研究拠点の申請について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他大学の例では、予算が少ない割にかけられる期待が大きいため、結局申請した教員の負担になっている。教員に相応のリターンやインセンティブがないと大変だと思う。</li> </ul>	<p>現在、研究戦略統括室が中心となり、教員へのインセンティブ等を含め、「共同研究に係る経費計上のあり方」について検討しており、教育研究評議会 (H30. 2. 14) や情報理工学研究科代議委員会 (H30. 3. 16) において、意見交換を行ったところである。ことを目指し、もって大学の次なる戦略に資する活動につなげる。</p>